

現在進行形のリアルな新宿を、インターネット上で 発信・記録し続ける

新宿どこでもミュージアム

everywhere everything
SDM
新宿どこでもミュージアム



[MC] ヴィヴィアン佐藤
美術家、文筆家、非建築家、ドラッグクイーン、プロモーター。ジャンルを横断して独自の見解で分析。作品制作発表だけではなく、「同時代性」をキーワードに映画や演劇、都市など独自の芸術論で批評展開。サンミュージック提携タレント。大正大学客員教授。



新宿どこでもミュージアム 🔍 で検索!

チャンネル登録も
お願いします!



こちらもチェック!

Re:
Shinjuku

新宿のエンターテインメントを
支援する動画サイト「Re:Shinjuku」

<https://re-shinjuku.jp>

新宿区文化芸術復興支援事業により区内の劇場やライブハウス等の文化芸術施設の動画を配信しています





新宿フィールドミュージアム 企画部会座長 安保 亮

2020年4月の緊急事態宣言で活動を停止した新宿フィールドミュージアム(SFM)有志が、「こんな時でも何かできることはないか?」とリモートで集まり、「文化芸術も、新宿の街も人も大変なことになっている。その状況を残すことが大切なのでは?」と動画取材を開始。これが「新宿どこでもミュージアム(SDM)」です。

MCは、SFMのイベントでも司会などを務めてきたヴィヴィアン佐藤さん(ガイドブック前期号参照)。2020年7月に取材を開始し、2020年に16回取材。2021年初頭までに13本の動画をYoutubeで公開。各動画は経緯や現状、コロナ禍関連の話題に留まらず、数百年前の伝統文化、戦前・戦後、そして日本・東京・新宿の歴史。世界の国々の様子や関わり。各地域の人々の活動や想い。そして新宿ならではの多様な人々とその営みにも及んでいます。これらのエピソードには、コロナ禍にも決して止まることなく活動を続ける、新宿のエネルギーのほとばしりも感じられます。

以下に、4月以降公開の4本の動画を紹介します。

新宿駅 東口 ヴィレッジ

● 東京フィルハーモニー交響楽団

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年創立。メンバー約160名が在籍する日本で最も長い歴史と規模のオーケストラです。戦中でさえ不定期になっても継続していた公演や活動が、2020年には100日間も完全停止しました。その後リハーサルを再開した時の動画には、失われた日常が再開した時の心情を見ることが出来ます。



SDM 東京フィル
ハーモニー交響楽団



東京フィルハーモニー交響楽団のWEBサイトはこちらから <https://www.tpo.or.jp/>

新宿駅 東口 ヴィレッジ

● ブーク人形劇場

ブーク人形劇場は、1971年に建設され、今年(2021年)で誕生50周年をむかえます。昨年は、企画・準備・稽古を重ねながらも中止・休演になった公演も少なくありません。配信にも積極的に取り組んでいます。



SDM ブーク人形
劇場



ブーク人形劇場のWEBサイトはこちらから <https://puk.jp/theatre/>

メインビジュアルを描く日本画家

● 平良志季

このパンフレットの表紙も飾っている「七福神新宿探し 空中散歩図」。このSFMのメインビジュアルを描く画家に選ばれた平良志季さんは若手の日本画家です。作品を描くための準備や、絵の具をはじめとする描画技法にも触れています。



SDM 平良志季



平良志季さんのWEBサイトはこちらから <https://tairashiki.com>

MC

● ヴィヴィアン佐藤

SDM全動画のMCを担当するヴィヴィアン佐藤さん。今回は、現在から未来に向かっての東京・新宿の文化芸術・街・人の状況。そして東京都が2020年に行った文化芸術支援活動「アートにエールを」実現への協力や、2021年の支援活動継続に向けた活動の経緯などもお話し頂きました。



SDM ヴィヴィアン
佐藤



ヴィヴィアン佐藤さんのTwitterはこちらから <https://twitter.com/viviennessato>